

# 令和6年度 第1回 小浜市地域公共交通会議

日 時 令和6年7月4日(木) 10時30分～

会 場 小浜市働く婦人の家 3階 大会議室

## 会 議 次 第

### 1. 開 会

### 2. 会長・副会長選任

### 3. 議 事

(報告事項)

#### ①小浜市公共交通の現状について

- ・小浜市地域公共交通会議について…P 1-5
- ・あいあいバスの概要 …P 6
- ・あいあいバスの利用状況について …P 7-14
- ・JR 小浜線の利用状況について …P 15
- ・小浜市の公共交通機関利用促進策について…P 16
- ・小浜市地域公共交通計画の取組みについて…P 17-18

#### ②コミュニティバスの運行形態見直しについて…P 19-24

### 4. その他

### 5. 閉 会

## ■小浜市地域公共交通会議とは

● 道路運送法施行規則に基づき、地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送（バスやタクシー等）の在り方や運賃・料金等に関する事項や、自家用車による有償運送（自家用有償旅客運送）の必要性、旅客から受け取る対価に関する事項などについて協議する会議です。

地域の需要に即した運送サービスが提供されることにより地域住民の交通利便の確保・向上に寄与するよう努めるもので、小浜市では平成19年7月に設置されました。

令和3年度からは地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通計画の作成及び実施に関して必要な協議を行う法定協議会も兼ねています。

● 地域公共交通計画とは、地域の公共交通の現状やニーズ、課題を把握し、そのあるべき姿と目標を明確にする「マスタープラン」で、小浜市の公共交通の現状、課題や今後のまちづくりも踏まえて、公共交通全体の計画として、今後の在り方や方向性、目標を示すものです。

令和4年度は計3回の会議を開催し、計画の策定と、計画に基づく取組みとして、コミュニティバスの運行形態を見直すため、デマンド交通と市街地循環バスの実証実験を行いました。

令和5年度は、コミュニティバスの運行形態の見直しについて総合的な検証が必要なことから、利用者へのヒアリングや関係者との意見交換を行うとともに、福井大学と連携し、交通事業者、市、大学の産官学においてさらなる検討を行いました。

本日は、検討結果についてご報告するとともに、今後の方針について、ご意見を頂戴したいと思います。

## ■これまでの会議の協議事項一覧

### 平成19年度 第1回

- ・バス運行等の課題について
- ・「下根来今富線」運行経路一部変更について

### 平成19年度 第2回

- ・幹事会で諮る軽微な事項について
- ・平成20年度あいあいバス運行計画について
  - あいあいバス路線日曜日運休について
  - 「下根来今富線」運行経路一部変更について
  - 池河内線「東市場バス停」の移設について
- ・「みほとけの里国宝めぐりバス」運行経路等の変更について

### 平成20年度

- ・平成21年度 あいあいバス運行計画について
  - あいあいバスの運行概要について
  - デマンド型乗合タクシーによる日曜日運行について
  - 鯉川・加斗線「荒木バス停」の移設について
  - 小浜市地域公共交通会議設置要綱第8条第3項に規定する専決事項の報告について
  - (泊線、矢代線の運行時刻の一部変更について)

### 平成21年度 第1回

- ・デマンド型乗合タクシーによる日曜日運行について
- ・「矢代線」の路線の延長および路線名の変更について
- ・「田烏・上中線」の廃止について
- ・「宮川線」の路線の新設について

### 平成21年度 第2回

- ・「田烏線」の新設（矢代線の延長）に伴うダイヤ編成、運賃体系について
  - 「矢代停留所」の移設と路線の廃止について
- ・「宮川線」の新設に伴うダイヤ編成、路線の変更について
- ・平成22年4月1日ダイヤ改正について
- ・あいあいタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行状況報告

### 平成22年度

- ・「田烏線」須ノ浦停留所の移設とこれに伴う路線の短縮について
- ・「小屋・須縄線」および「小屋・谷田部線」上中井停留所の移設について
- ・小浜縦貫線の路線新設に関する意見聴取について

### 平成23年度

- ・小浜縦貫線の路線新設に関する意見聴取について
- ・田烏小学校の統合に伴うスクールバス運行について

## 平成25年度

- ・バス運行等の課題について
- ・「池河内線」の「四分一停留所」の移設について
- ・「小屋・須縄線」および「小屋・谷田部線」の「下田停留所」および「山左近停留所」の移設について
- ・「池河内線」の「めのう会館前停留所」の名称変更について

## 平成26年度

- ・バス運行等の現状について
- ・「宮川線」の下り方面行きのダイヤ変更について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・(株)西日本 JR バス若江線のICカード化について

## 平成27年度

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・宮川線の一部経路変更について

## 平成28年度

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・道の駅へのあいあいバス停留所設置について
- ・美郷小開校に伴うあいあいバス運行について

## 平成29年度

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・道の駅へのあいあいバス停留所設置について
- ・宇久・西小川線一部ダイヤ変更について

## 平成30年度

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・小浜美郷小学校開校に伴う路線変更について

## 令和元年度

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・道の駅若狭おばまバスターミナルへの乗り入れについて
- ・小浜線の運行に応じたダイヤ改正について

## 令和元年度 第2回

- ・小屋・谷田部線のダイヤ改正について
- ・小屋・谷口線（あいあいタクシー）のダイヤ改正について

## 令和2年度

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・高齢者運転免許自主返納支援事業の拡充について
- ・江古川バス停の移設について
- ・大手橋、西津橋の架け替えへの対応について

## 令和3年度 第1回

- ・バス運行等の現状について
- ・あいあいバスの利用促進策について
- ・小浜市地域公共交通計画策定に向けた今後の進め方について

#### 令和3年度 第2回

- ・小浜市地域公共交通計画の策定に向けた調査について
- ・大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴うあいあいバスの運行経路変更について

#### 令和3年度 第3回

- ・小浜市地域公共交通計画（骨子案）について
- ・大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴うあいあいバスの運行経路変更について
- ・江古川バス停の移設について
- ・小屋・谷田部線、小屋・須縄線のダイヤ改正について
- ・令和3年度地域公共交通計画調査事業にかかる第三者評価委員会資料について

#### 令和3年度 第4回

- ・小浜市地域公共交通計画（素案）について

#### 令和4年度 第1回

- ・小浜市公共交通の現状について
- ・大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴うあいあいバス運行経路変更について
- ・小浜市地域公共交通計画（案）について
- ・コミュニティバス運行形態見直しにかかる事業について

#### 令和4年度 第2回

- ・デマンド交通実証実験について
- ・市街地循環バス実証実験について

#### 令和4年度 第3回

- ・デマンド交通実証実験の結果について
- ・市街地循環バス実証実験の結果について

#### 令和5年度 第1回

- ・コミュニティバスの運行形態の見直しについて

## ■小浜市地域を運行する公共交通機関の経緯

年 表	経 緯
T11.12.20	小浜線全線開業
S12.12.21	国鉄バス「若江線」(小浜駅－近江今津駅) 運行開始
S19.2.25	国鉄バス「名田庄線」(小浜駅－納田終) 運行開始
S21.6.1	国鉄バス「名田庄線」(小浜駅－小屋) 運行開始
S24.1.30	国鉄バス「若江線(西津線)」(小浜駅－矢代・泊口) 運行開始
S26.5.1	国鉄バス「若江線(本保線)」(小浜駅－北本保) 運行開始
S28.8.10	国鉄バス「若江線(田烏線)」(小浜駅－田烏) 運行開始
S29.1.25	国鉄バス「若江線(池河内線)」(小浜駅－池河内) 運行開始
S32.8.8	国鉄バス「若江線(下根来線)」(小浜駅－下根来) 運行開始
S61.1.20	国鉄バス「若江線(本保線)」全線廃止
S62.3.31	国鉄バス「若江線(下根来線)」全線廃止
S62.4.1	国鉄分割民営化(JR発足)
H5.3.31	福井鉄道「本郷線(小浜駅－本郷駅前)」全線廃線
H6.3.31	JRバス「若江線(田烏線)」全線廃止
H6.3.31	JRバス「名田庄線」(納田終－井上) 廃線
H6.9.30	福井鉄道「若狭線」(小浜駅－三方駅前) 全線廃線
H6.9.30	福井鉄道「若狭線」(小浜駅－末野) 全線廃線
H6.9.30	福井鉄道「大島線」(小浜駅－宮留) 全線廃線
H8.9.30	福井鉄道「若狭線」(小浜駅－敦賀駅前) 全線廃線
H14.3.31	JRバス「名田庄線」「若江線(西津線)(池河内線)」全線廃止
H14.4.1	あいあいバス運行開始 「小屋須縄線」「小屋谷田部線」「泊線」「矢代線」「池河内線」 「田烏宮川線」「太良庄国富線」「市内巡回線」「下根来今富線」 「鯉川加斗線」 名田庄線(小浜駅－流星館) 運行開始
H15.3.15	小浜線電化開業
H18.4.1	あいあいバス(宇久西小川線) 運行開始
H19.3.31	福井鉄道「本郷(川上)線」(小浜駅－本郷白浜) 廃線
H21.8	デマンド型乗合タクシー(あいあいタクシー)の日曜日運行の導入

## ■あいあいバスの概要

### 【運行を始めた経緯】

平成14年の民間路線バスの撤退後に、大和交通㈱と三福タクシー㈱の2社により市内の通学・通勤・通院などの交通需要に応えるため、コミュニティバスを運行することとなりました。

同時に、名田庄方面からの交通需要に応えるため、大和交通㈱による名田庄村・流星館から小浜市内へのバス「流星」の運行も開始されました。

### 【現在の運行状況／運賃】

- ・毎日運行路線が5路線、曜日限定運行路線が6路線
- ・運行車両はバス5台とハイエース1台
- ・運賃は100円、200円、300円の3種類

	路線名	主な運行区間	1日当たりの便数	運賃
毎日	小屋・須縄線	二中～須縄～小屋	平日2往復	ゾーン運賃制 100円・200円・300円
	小屋・谷田部線	二中～谷田部～小屋	平日6往復	
	泊線	小浜駅～泊	平日6往復	
	田島線	小浜駅～田島	平日6往復	
	池河内線	二中～池河内	平日4往復	ゾーン運賃制 100円・200円
隔日	健管センター線	小浜駅（市街地循環）	月・水・金2便	全区間100円
	宇久・西小川線	小浜駅～宇久	月・水1往復	ゾーン運賃制 100円・200円
	太良庄・国富線	小浜駅～太良庄	火・金1往復	
	宮川線	小浜駅～加茂	月・水・金1往復	
	下根来・今富線	小浜駅～長瀬	火・木1往復	
	鯉川・加斗線	ヨヰソグセンター～鯉川	月・水1往復	

### 【運行経費】

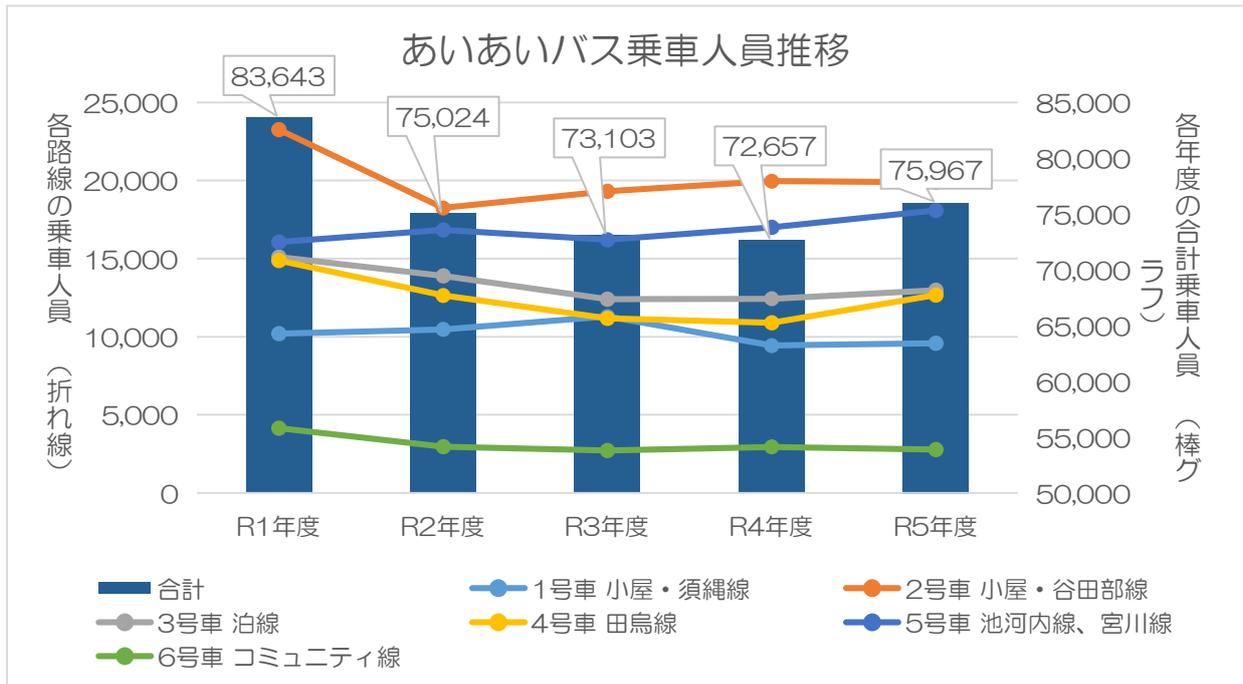
単位：千円

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	対前年度
運行費用	113,229	108,919	113,048	118,606	119,191	+585
運賃収入	11,562	9,437	9,916	9,230	9,778	+548
補助金 (費用－収入)	101,667	99,482	103,131	109,376	109,413	-37

(補助金に、県補助金16,500千円を含む。)

(H21.8月運行開始のあいあいタクシーを含む。)

## ■あいあいバスの利用状況 - 乗車人員

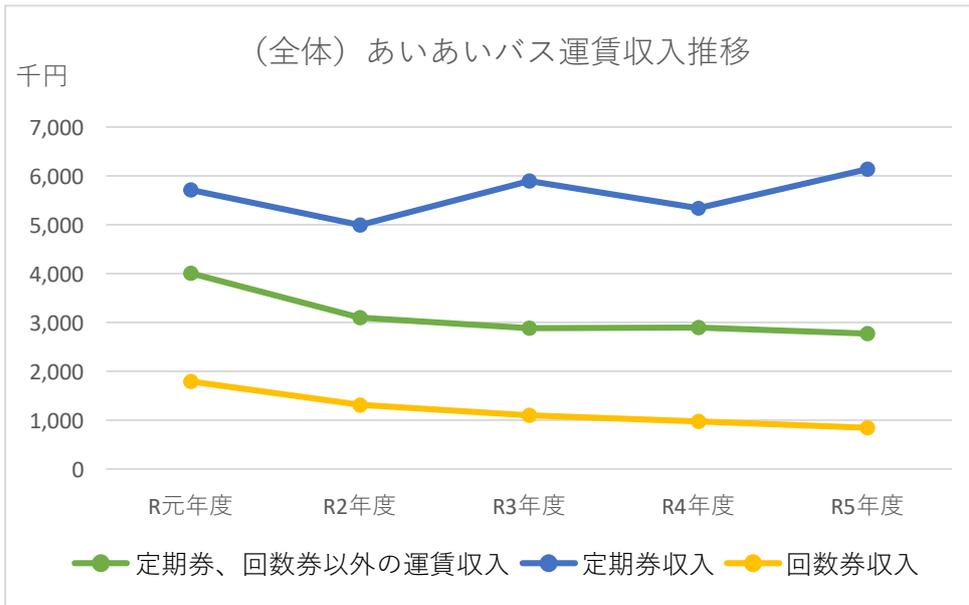


単位：人

号車	路線名	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	対前年度比	
1号車	小屋・須縄線	10,189	10,468	11,290	9,431	9,580	102%	149
2号車	小屋・谷田部線	23,259	18,241	19,310	19,957	19,880	100%	-77
3号車	泊線	15,108	13,888	12,399	12,433	12,972	104%	539
4号車	田烏線、宇久西小川線	14,874	12,640	11,181	10,891	12,666	116%	1775
5号車	池河内線、宮川線	16,061	16,833	16,211	16,998	18,085	106%	1087
6号車	コミュニティ線	4,152	2,954	2,712	2,947	2,784	94%	-163
合計		83,643	75,024	73,103	72,657	75,967	105%	3310

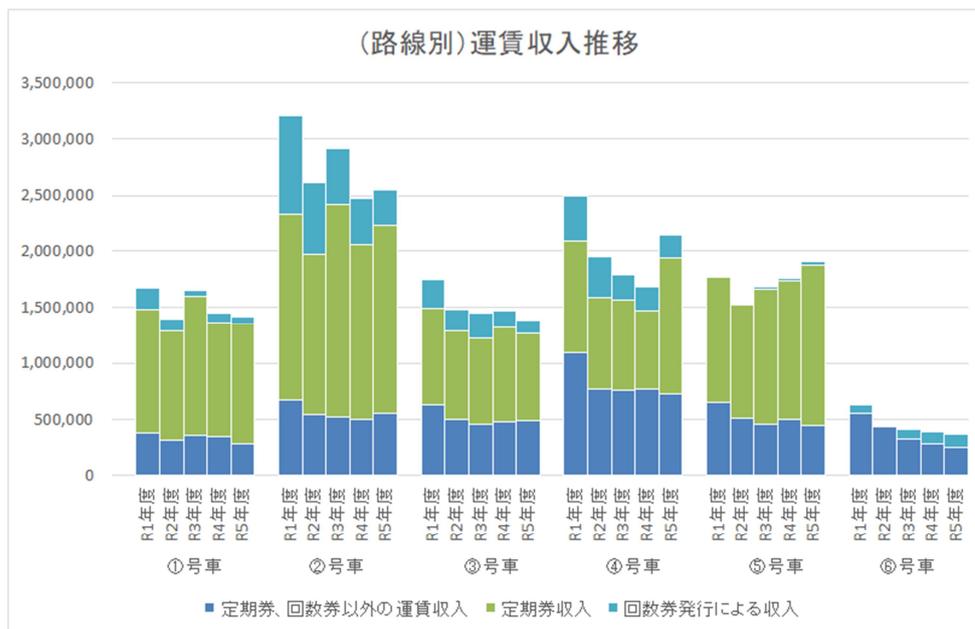
令和5年度のあいあいバス年間乗車人数合計 75,967人（対前年度比 3310人・105%）  
 田烏線・宇久西小川線の乗車人数が対前年度比で+1,775人（116%）と他の路線に比べ増加率が高い。また、合計乗車人数はコロナ前の水準に回復傾向である。

## ■あいあいバスの利用状況 - 運賃収入



単位：千円

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	
定期券、回数券以外の運賃収入（現金）	4,009	3,098	2,885	2,894	2,772	96%	-122
定期券収入	5,712	4,995	5,897	5,336	6,136	115%	800
回数券収入	1,792	1,312	1,101	976	846	87%	-130
合計	11,513	9,405	9,883	9,206	9,754	106%	548

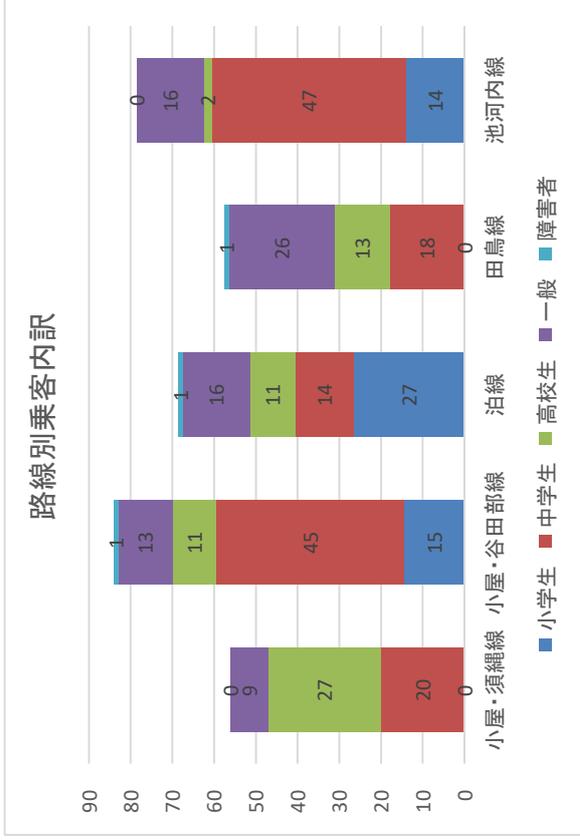
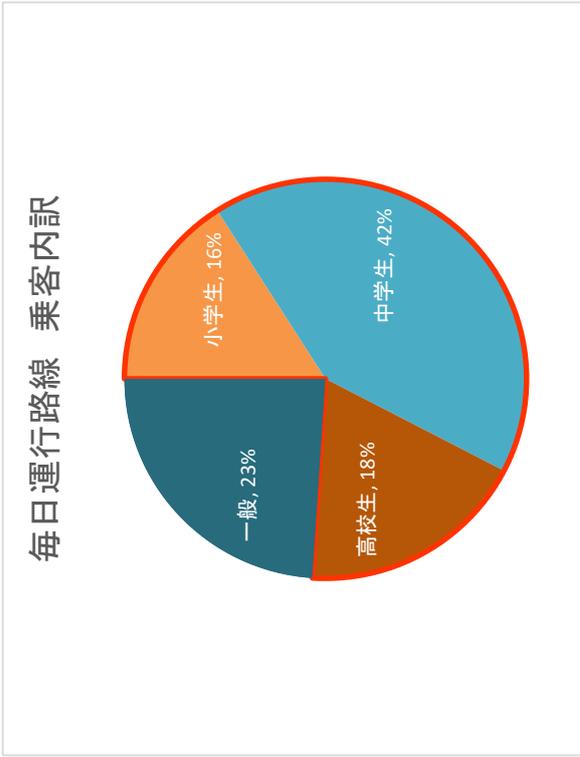


R5年度あいあいバス運賃収入合計 9,754,000円（対前年度比548千円、106%）  
 定期券収入は大幅に増加したが、現金収入、定期券収入、回数券収入が減少しています。  
 路線別では、1、3号車で横ばい、2、4、5号車で回復基調であるが、6号車については、減少傾向が続いている。

# R5年度 あいあいバス（毎日運行路線）

# 乗降調査結果（平日）

※11月27日（月）、29日（水）平均乗車人員より



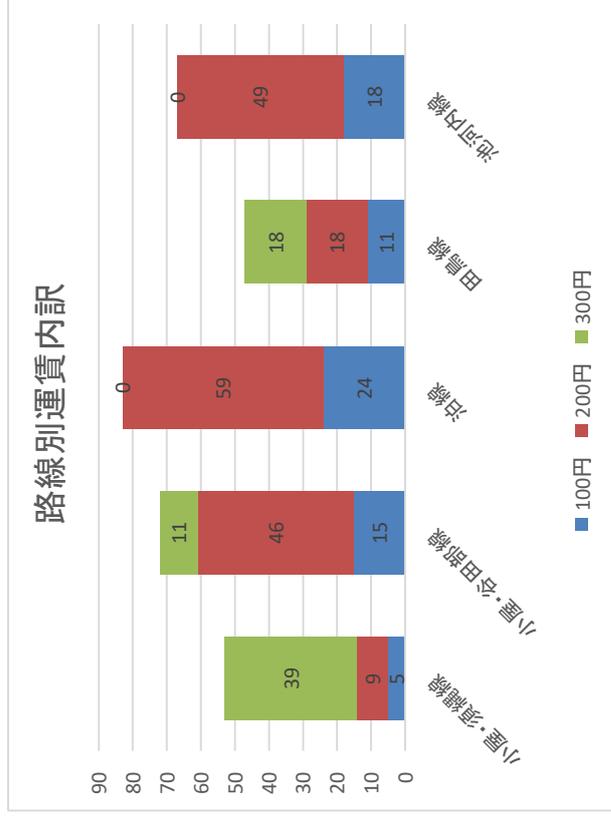
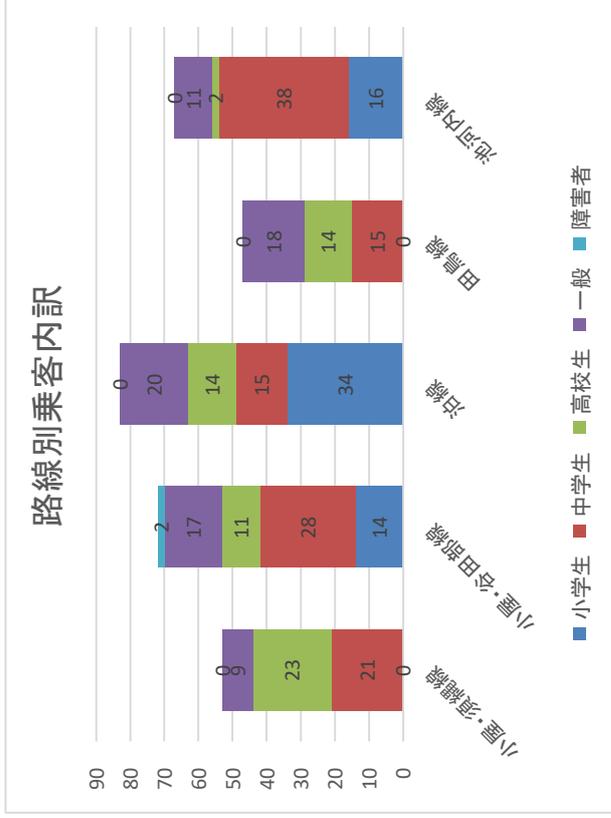
路線名	便数/日	乗客数/日	乗客の内訳(人)					1便あたり平均乗客数(人)
			小学生	中学生	高校生	一般	障害者	
小屋・須縄線	4便	56	0%	36%	48%	16%	0%	14.0
小屋・谷田部線	13便	84	17%	54%	13%	15%	1%	6.5
泊線	12便	69	39%	20%	16%	23%	1%	5.7
田鳥線	13便	58	0%	31%	23%	44%	2%	4.4
池河内線	8便	79	18%	59%	3%	20%	0%	9.8
あいあい計	50便	345	16%	42%	18%	23%	1%	6.9

(乗降調査からの考察)

- あいあいバス全体：乗客は小・中・高の学生で約8割を占め、主に学生の通学手段となっている。
- 毎日運行路線の内、1日あたりの利用者数が最も多いのは「小屋・谷田部線」で84人/日。
- 田鳥線は他の路線と比較すると一般利用が多い傾向。
- 対前年比で見ると、小屋・須縄線の高校生利用や池河内線の中学生および一般利用の増加が全体利用数を底上げしている。

あいあいバス（毎日運行路線）

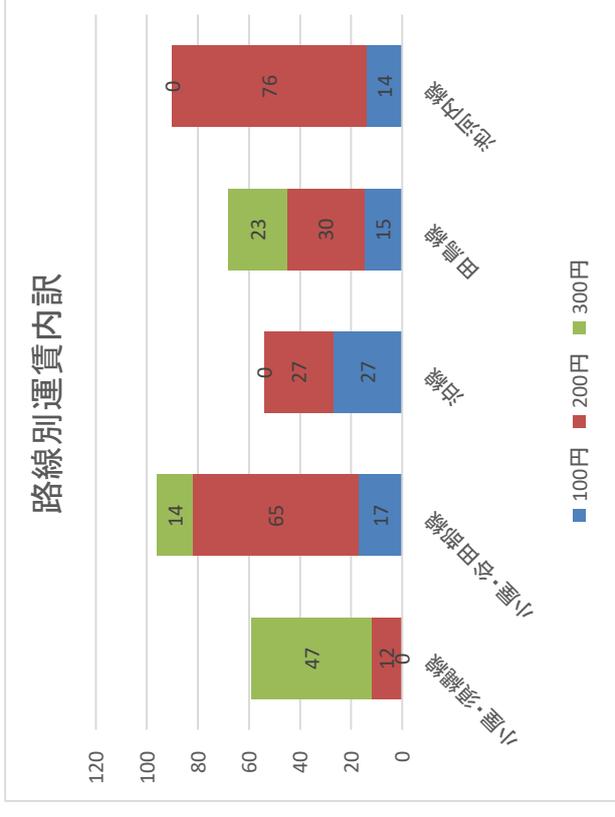
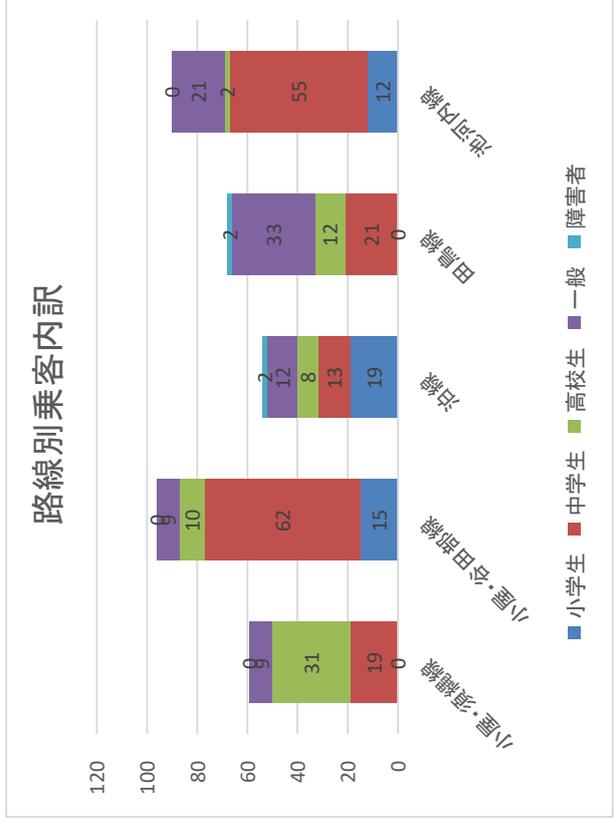
乗降調査結果（令和5年11月27日（月）実施）



路線名	便数	乗客数	乗客の内訳（人）				運賃の内訳（人）				1便あたり 平均乗客数（人）
			小学生	中学生	高校生	一般	障害者	100円	200円	300円	
			0%	17%	40%	17%	0%	9%	17%	74%	
小・須・須	4便	53	0	21	23	9	0	5	9	39	13.3
小・谷	13便	72	19%	39%	15%	24%	3%	21%	64%	15%	5.5
泊	12便	83	41%	18%	17%	24%	0%	29%	71%	—	6.9
田鳥	13便	47	0%	32%	30%	38%	0%	23%	38%	38%	3.6
池河	8便	67	24%	57%	3%	16%	0%	27%	73%	—	8.4
あいあい計	50便	322	20%	36%	20%	23%	1%	23%	56%	21%	6.4
			64	117	64	75	2	73	181	68	

あいあいバス（毎日運行路線）

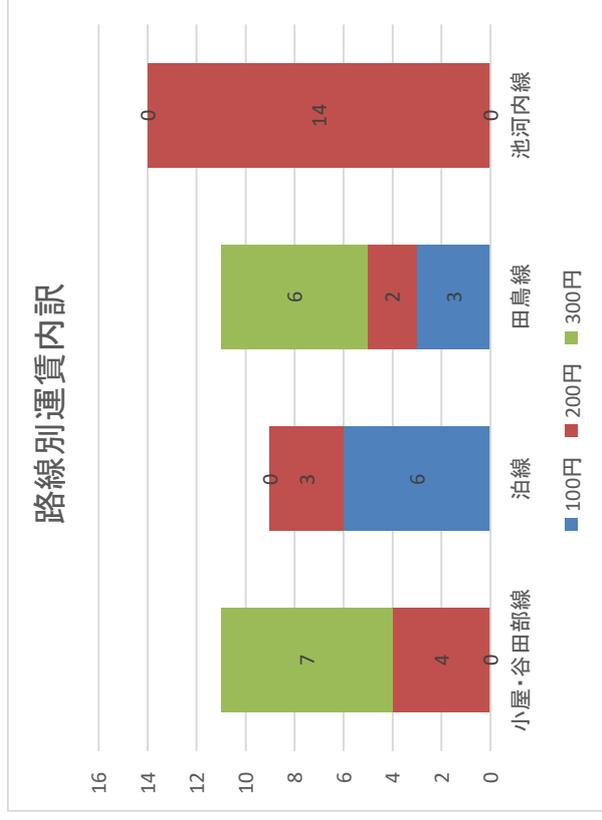
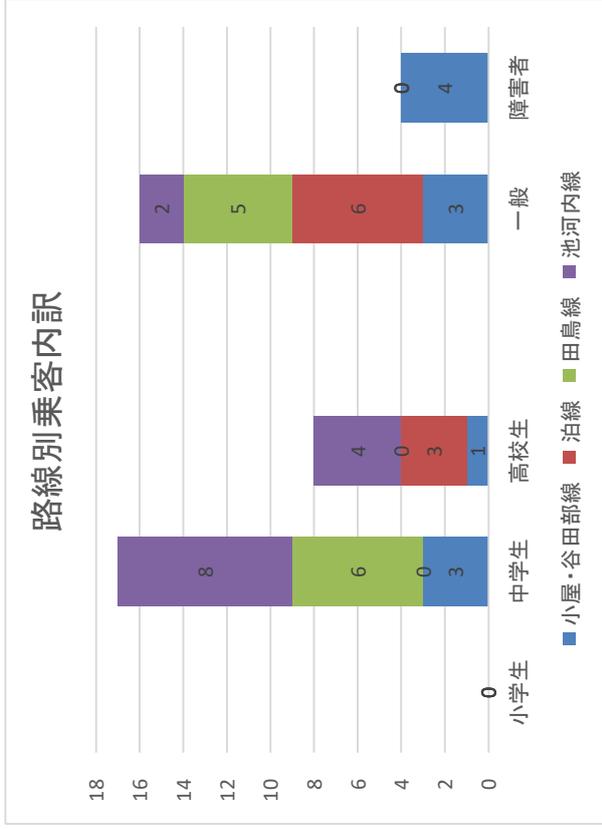
乗降調査結果（令和5年11月29日（水）実施）



路線名	便数	乗客数	乗客の内訳（人）					運賃の内訳（人）				1便あたり平均乗客数（人）	
			小学生	中学生	高校生	一般	障害者	100円	200円	300円	80%		47%
			0%	32%	53%	15%	0%	0%	20%	80%			
小室・須縄線	4便	59	0	19	31	9	0	0	14.8	0	12	47	
小室・谷田部線	13便	96	16	65	10	9	0	18	15%	17	65	14	
泊線	12便	54	35	24	15	12	4	50	7.4	27	50%	—	
田島線	13便	68	0	31	18	33	2	22	4.5	30	44%	34%	
池河内線	8便	90	13	61	2	21	0	16	5.2	14	84%	—	
あいあい計	50便	367	46	170	63	84	4	20	7.3	210	57%	23%	

あいあいバス（毎日運行路線）

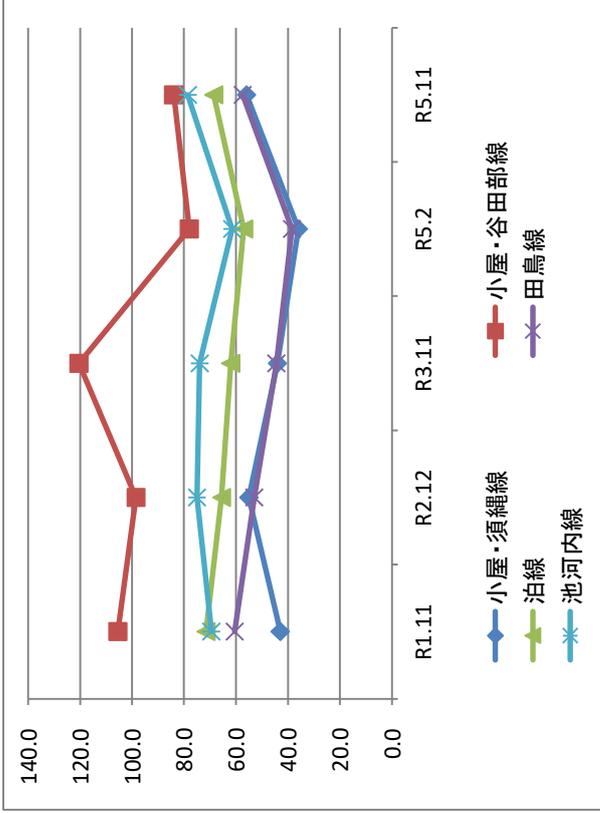
乗降調査結果（令和5年12月2日（土）実施）



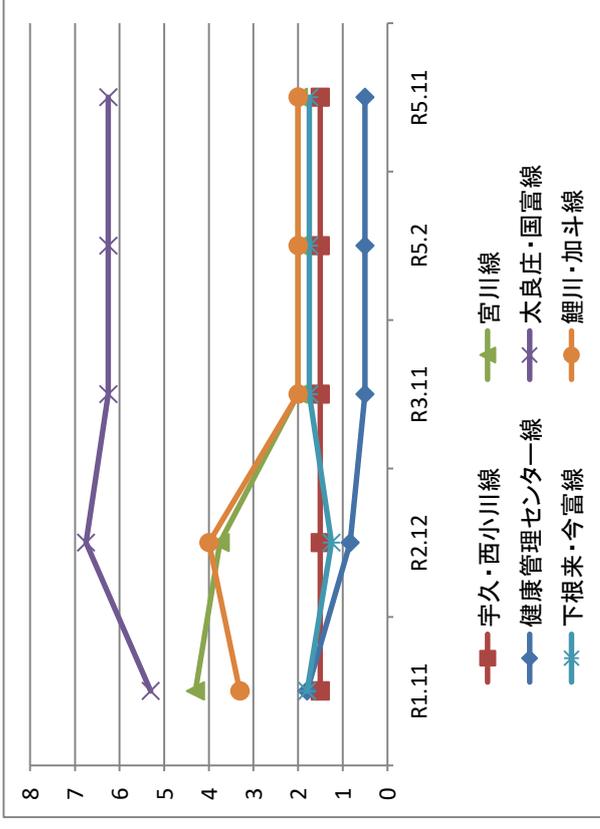
路線名	便数	乗客数	乗客の内訳（人）				運賃の内訳（人）			1便あたり平均乗客数（人）		
			小学生	中学生	高校生	一般	障害者	100円	200円		300円	
小舎・谷田部線	5便	11	0%	27%	9%	27%	36%	0%	36%	64%	7	2.2
泊線	4便	9	0%	0%	33%	67%	0%	67%	33%	—	—	2.3
田鳥線	4便	11	0%	55%	0%	45%	0%	27%	18%	55%	6	2.8
池河内線	6便	14	0%	57%	29%	14%	0%	0%	100%	—	—	3.5
あいあい計	17便	45	0%	38%	18%	36%	9%	20%	51%	29%	13	2.6

# あいあいバス乗降調査結果 平日 路線別 1日乗車人員数の推移 (令和1年～令和5年)

○毎日運行路線



○隔日運行路線



(人)

毎日運行路線	R1.11	R2.12	R3.11	R5.2	R5.11
小屋・須縄線	43.0	55.0	44.0	36.0	56.0
小屋・谷田部線	105.5	98.5	120.5	78.0	84.0
泊線	71.5	65.5	62.0	57.0	68.5
田鳥線	60.5	53.0	44.5	38.5	57.5
池河内線	69.5	75.0	74.0	61.5	78.5
合計	350.0	347.0	345.0	271.0	344.5

(人)

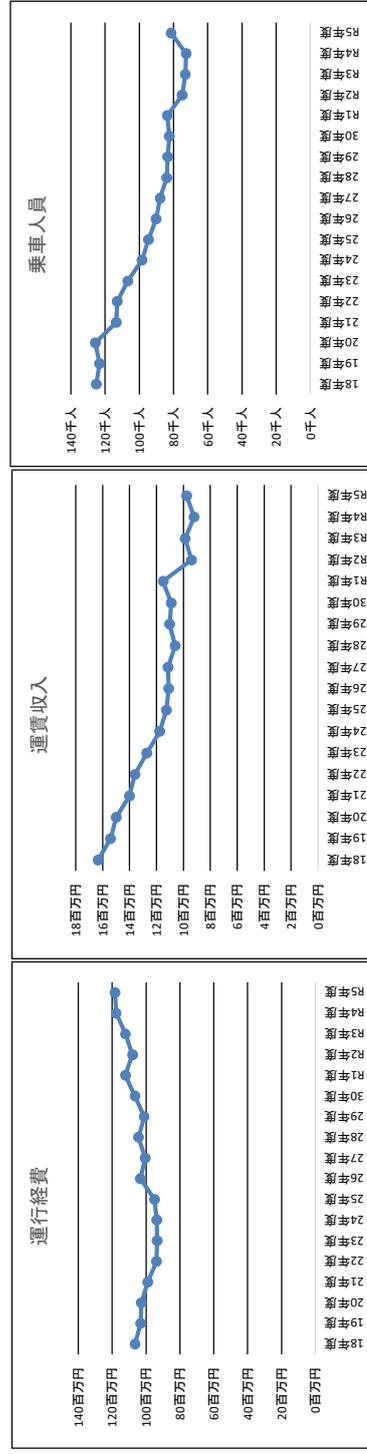
隔日運行路線	R1.11	R2.12	R3.11	R5.2	R5.11
宇久・西小川線	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
宮川線	4.3	3.8	2.0	2.0	2.0
健康管理センター線	1.8	0.8	0.5	0.5	0.5
太良庄・国富線	5.3	6.8	6.3	6.3	6.3
下根来・今富線	1.8	1.3	1.8	1.8	1.8
鯉川・加斗線	3.3	4.0	2.0	2.0	2.0
合計	17.8	18.1	14.0	14.0	14.0

- ・毎日運行路線については、2日間の調査日の平均乗車人員数。
  - ・毎日運行路線において、夕方の便の学生利用が昨年度より増えたことにより、全体の利用者は例年どおり約350人程度で推移する結果となった。
- ※昨年度、小屋・谷田部線と池河内線の利用が対前年度比で減少しているのは、夕方の便で通学帰宅の学生利用がなかったため。  
 (二中生：2/6部活なしのため流星号に乗車して帰宅、美郷：2/6職員研修で早帰りのため学校手配のスクールバスで帰宅)
- ・隔日運行路線については、調査した月曜日から土曜日のうち、運行日の日平均乗車人員数。

あいあいバス運行状況の推移（平成14年度～令和5年度）

※あいあいたクシー除く

年度	①		②		年度	対14年度	対前年比	乗車人員	対前年比	市支出額 (県補助金含む)	支出割合
	運行経費	対前年比	運行収入	対前年比							
14年度	109,956,776円	16.87%	18,545,474円		14年度		133,828人		91,411,302円	83.13%	
15年度	110,520,490円	16.80%	18,565,455円	100.11%	15年度	100.11%	143,725人	107.40%	91,955,035円	83.20%	
16年度	109,235,251円	16.66%	18,193,555円	98.00%	16年度	98.10%	134,554人	93.62%	91,041,696円	83.34%	
17年度	106,834,867円	15.87%	16,957,185円	93.20%	17年度	91.44%	126,969人	94.36%	89,877,682円	84.13%	
18年度	106,435,175円	15.35%	16,342,220円	96.37%	18年度	88.12%	125,273人	98.66%	90,092,955円	84.65%	
19年度	103,097,744円	14.96%	15,426,450円	94.40%	19年度	83.18%	123,254人	98.39%	87,671,294円	85.04%	
20年度	102,805,167円	14.57%	14,981,220円	97.11%	20年度	80.78%	125,744人	102.02%	87,823,947円	85.43%	
21年度	98,959,354円	14.14%	13,993,925円	93.41%	21年度	75.46%	113,465人	90.23%	84,965,429円	85.86%	
22年度	93,731,081円	14.50%	13,590,415円	97.12%	22年度	73.28%	112,927人	99.53%	80,140,666円	85.50%	
23年度	93,413,028円	13.63%	12,728,595円	93.66%	23年度	68.63%	106,738人	94.52%	80,684,433円	86.37%	
24年度	93,680,828円	12.55%	11,755,045円	92.35%	24年度	63.38%	98,423人	92.21%	81,925,783円	87.45%	
25年度	94,951,457円	11.86%	11,265,880円	95.84%	25年度	60.75%	94,718人	96.24%	83,685,577円	88.14%	
26年度	103,407,384円	10.73%	11,096,095円	98.49%	26年度	59.83%	90,196人	95.23%	92,311,289円	89.27%	
27年度	100,424,634円	11.08%	11,130,290円	100.31%	27年度	60.02%	87,802人	97.35%	89,294,344円	88.92%	
28年度	104,415,575円	10.18%	10,624,700円	95.46%	28年度	57.29%	84,009人	95.68%	93,790,875円	89.82%	
29年度	101,099,586円	10.90%	11,023,152円	103.75%	29年度	59.44%	83,450人	99.33%	90,076,434円	89.10%	
30年度	106,421,143円	10.26%	10,915,450円	99.02%	30年度	58.86%	82,503人	98.87%	95,505,693円	89.74%	
R1年度	112,178,955円	10.41%	11,512,315円	105.47%	R1年度	62.08%	83,643人	101.38%	100,666,640円	89.74%	
R2年度	107,997,843円	8.71%	9,404,475円	81.69%	R2年度	50.71%	75,024人	89.70%	98,593,368円	91.29%	
R3年度	112,165,584円	8.81%	9,882,470円	105.08%	R3年度	53.29%	73,103人	97.44%	102,283,114円	91.19%	
R4年度	117,678,573円	7.82%	9,205,555円	93.15%	R4年度	49.64%	72,657人	99.39%	108,473,018円	92.18%	
R5年度	118,290,683円	8.25%	9,755,800円	105.98%	R5年度	52.60%	81,386人	112.01%	108,534,863円	91.75%	



## ■JR小浜線（西敦賀～青郷）乗車人員数推移

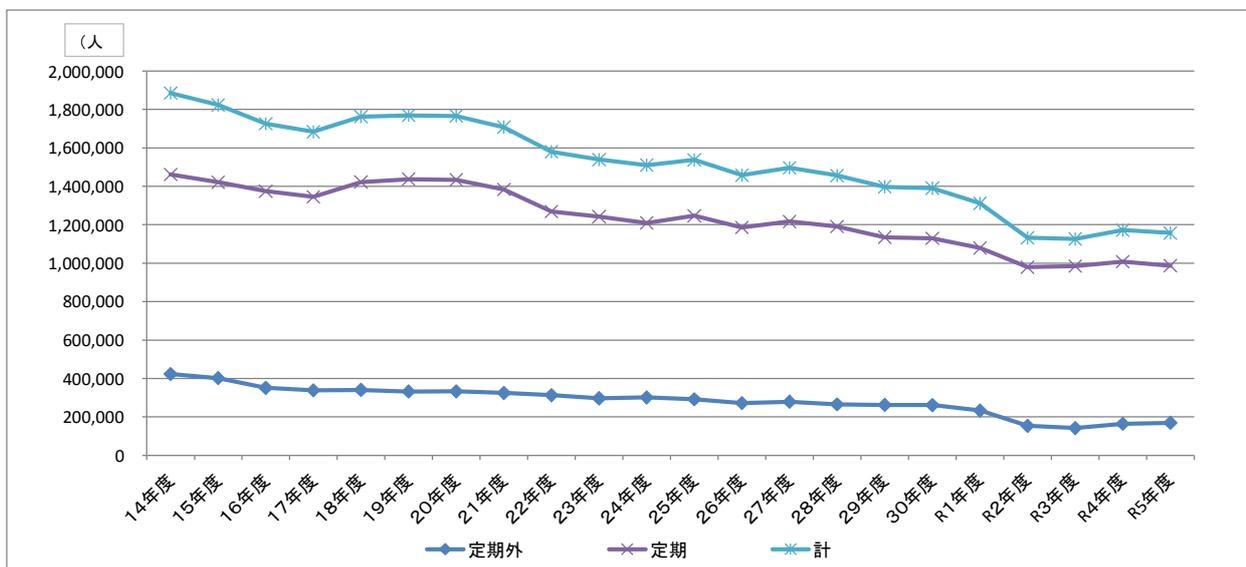
・JR小浜線全体における令和5年度の年間乗車人員 1,157,050人（対前年度比98.8%）

【小浜線】

平成	年間乗車人員（人）			1日平均乗車人員（人／日）			対前年比（%）		
	定期外	定期	計	定期外	定期	計	定期外	定期	計
14年度	423,035	1,461,460	<b>1,884,495</b>	1,159	4,004	<b>5,163</b>	—	—	—
15年度	402,230	1,420,580	<b>1,822,810</b>	1,102	3,892	<b>4,994</b>	95.1%	97.2%	<b>96.7%</b>
16年度	351,130	1,374,590	<b>1,725,720</b>	962	3,766	<b>4,728</b>	85.4%	95.3%	<b>93.1%</b>
17年度	338,355	1,345,390	<b>1,683,745</b>	927	3,686	<b>4,613</b>	98.2%	99.1%	<b>98.9%</b>
18年度	340,545	1,422,405	<b>1,762,950</b>	933	3,897	<b>4,830</b>	100.6%	105.7%	<b>104.7%</b>
19年度	332,150	1,436,640	<b>1,768,790</b>	910	3,936	<b>4,846</b>	98.1%	101.3%	<b>100.7%</b>
20年度	332,880	1,433,355	<b>1,766,235</b>	912	3,927	<b>4,839</b>	100.2%	99.8%	<b>99.9%</b>
21年度	324,120	1,383,715	<b>1,707,835</b>	888	3,791	<b>4,679</b>	97.4%	96.5%	<b>96.7%</b>
22年度	312,440	1,268,010	<b>1,580,450</b>	856	3,474	<b>4,330</b>	96.4%	91.6%	<b>92.5%</b>
23年度	296,745	1,242,095	<b>1,538,840</b>	813	3,403	<b>4,216</b>	95.0%	98.0%	<b>97.4%</b>
24年度	300,760	1,209,610	<b>1,510,370</b>	824	3,314	<b>4,138</b>	101.4%	97.4%	<b>98.1%</b>
25年度	291,270	1,245,745	<b>1,537,015</b>	798	3,413	<b>4,211</b>	96.8%	103.0%	<b>101.8%</b>
26年度	271,560	1,185,885	<b>1,457,445</b>	744	3,249	<b>3,993</b>	93.2%	95.2%	<b>94.8%</b>
27年度	279,304	1,216,672	<b>1,495,976</b>	763	3,324	<b>4,087</b>	102.9%	102.6%	<b>102.6%</b>
28年度	265,045	1,190,617	<b>1,455,662</b>	726	3,262	<b>3,988</b>	94.9%	97.9%	<b>97.3%</b>
29年度	262,309	1,134,563	<b>1,396,872</b>	719	3,108	<b>3,827</b>	99.0%	95.3%	<b>96.0%</b>
30年度	260,975	1,128,945	<b>1,389,920</b>	715	3,093	<b>3,808</b>	99.5%	99.5%	<b>99.5%</b>
R1年度	232,870	1,078,575	<b>1,311,445</b>	638	2,955	<b>3,593</b>	89.2%	95.5%	<b>94.4%</b>
R2年度	153,300	978,565	<b>1,131,865</b>	420	2,681	<b>3,101</b>	65.8%	90.7%	<b>86.3%</b>
R3年度	141,255	984,770	<b>1,126,025</b>	387	2,698	<b>3,085</b>	92.1%	100.6%	<b>99.5%</b>
R4年度	163,520	1,007,765	<b>1,171,285</b>	448	2,761	<b>3,209</b>	115.8%	102.3%	<b>104.0%</b>
R5年度	169,725	987,325	<b>1,157,050</b>	465	2,705	<b>3,170</b>	103.8%	98.0%	<b>98.8%</b>

※ 「1日平均乗車人員」は『福井県統計年鑑』より抜粋。

「年間乗車人員」および「対前年度比」は「1日平均乗車人員」より算出した推計値



## ■公共交通機関の利用促進事業について

目的：JR小浜線および市内バス利用に対する乗車券購入費の一部を助成し、公共交通機関の利用促進を行う

	助成内容		対象者		助成額		R3年度		R4年度		R5年度										
	生活路線バス高校生等通学定期乗車券購入助成金	JR小浜線高校生等通学定期乗車券購入助成金	JR小浜線団体利用助成金	小学生乗車マナー訓練事業補助金	JR小浜線小浜駅前無料駐車場の提供	運転免許自主返納支援事業	JR小浜線高齢者運賃助成金	JR小浜線親子乗車助成金	西日本JRバス若江線回数券購入助成金	JR小浜線学生帰省助成金	路線バス利用者向け駅前駐車場利用助成金	市内に居住する高校生等を養育する保護者	市内に居住する高校生等を養育する保護者	市内に居住する方 ・市内に通勤・通学・通院する者	市内小学校	定期乗車券の購入者 ・往復乗車券の購入者	自主的に有効期間内の全ての運転免許を返納する満65歳以上の市民	市内に居住する満65歳以上の高齢者	市内に居住する親子（子どもは中学生以下に限る。）	市内に居住する方 ・市内の団体	県小浜キャンパス生 ・市外に居住する学生
1	1,192,720円	105件	購入額の50%（※1）	114,000円	8校、503人	購入額の20%	—	—	985,110円	84件	1,175,190円	94件									
2（※3）	889,740円	204件	購入額の15%（※2）	74,014円	63件、1,207人	購入額の30%	—	—	921,580円	183件	1,260,740円	228件									
3（※3）	—	—	団体割引後の20% 上限：片道400円/人	—	—	運賃の80%	—	—	144,770円	—	151,030円	—									
4	—	—	運賃の全額	—	—	購入額の80%	—	—	97件、2,203人	—	71件、1,596人	—									
5	110,300円	定期35月分 往復297件	駅前市営駐車場料金の100% ※往復乗車券購入者については16h/台まで	116,000円	5校、687人	購入額の20%	19,020円	14件	116,000円	5校、687人	145,100円	8校、740人									
6	637,500円	※往復乗車券購入者については16h/台まで	—	—	—	購入額の20%	—	—	定期43月分 往復335件	—	定期54月分 往復429件	—									
7（※3）	—	—	—	—	—	購入額の20%	—	—	720,000円	—	700,500円	—									
8（※3）	—	—	—	—	—	購入額の80%	—	—	※往復乗車券購入者については16h/台まで	—	—	—									
9	—	—	—	—	—	購入額の30%	—	—	※往復乗車券購入者については16h/台まで	—	—	—									
10	—	—	—	—	—	運賃の80%	—	—	—	—	—	—									
11	—	—	—	—	—	購入額の80%	—	—	—	—	—	—									

（※1）ひとりの親家庭医療費助成受給世帯または児童扶養手当受給世帯ひとり親世帯は、購入額から、1,000円/月を差し引いた金額

（※2）ひとりの親家庭医療費助成受給世帯または児童扶養手当受給世帯ひとり親世帯は、購入額の80%

（※3）おばあさんサポーターの場合、助成率を2%上乘せ

# 小浜市地域公共交通計画 取組み一覧

		実施時期					取組み主体 (◎)、連携 (○)				
		R 5年度事業	R 6年度事業 (予定)	2022 (F4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	交通事業者	企業、関係団体等	市民・利用者
基本方針1：みんなが支え合う公共交通ネットワークの実現											
1	コミュニティバスの運行形態見直し	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	→	→	→	→	→	◎	○ (企業等)	○
2	公共交通と送迎バス等の連携検討	→	→	→	→	→	→	→	◎	○ (学、企、業等)	○
3	モビリティマネジメントの展開	・バス絵画コンクールの開催 (小浜市) ・小浜線通学定期助成 (小利協) ・小学生乗車マナー訓練事業補助金の実施 (小浜市) ・おはませんサポーターズクラブの運営、サポーター特典の実施 (小利協)	・小学生乗車マナー訓練事業補助金の実施 (小浜市) ・小浜線通学定期助成 (小利協) ・おはませんサポーターズクラブの運営、サポーター特典の実施 (小利協)	→	→	→	→	→	◎	○ (学、企、業等)	○
4	居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	→	→	→	→	→	◎	○	◎
5	公共交通機関利用促進事業の実施	・ (小浜線) 回数乗車券・団体利用・高校生通学定期・高齢者乗車・親子乗車に対する助成 ・ (バス) 高校生通学定期助成、若江線バス回数券助成、路線バス利用者向け小浜駅前駐車場の助成 ・ (共通) 小学生乗車マナー訓練補助金	・ (小浜線) 回数乗車券・団体利用・高校生通学定期・高齢者乗車・親子乗車に対する助成 ・ (バス) 高校生通学定期助成、若江線バス回数券助成、路線バス利用者向け小浜駅前駐車場の助成 ・ (共通) 小学生乗車マナー訓練補助金	→	→	→	→	→	◎	○ (協議会等)	○
6	高齢者免許自主返納者への支援	・あいあいバス1年間無料バスポートの交付、タクシーチケット	・あいあいバス1年間無料バスポートの交付、タクシーチケット (またはバス回数券) 1万円分	→	→	→	→	→	◎	○ (警察等)	○
基本方針2：日々のおでかけを支える公共交通サービスの提供											
7	市街地循環バスの導入検討	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	→	→	→	→	→	◎	○	◎
4 (再掲)	居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討 (再掲)	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	・福井大学と共創したコミュニティバス運行形態見直し検討会の開催	→	→	→	→	→	◎	○	◎
6 (再掲)	高齢者免許自主返納者への支援 (再掲)	・あいあいバス1年間無料バスポートの交付、タクシーチケット (またはバス回数券) 1万円分	・あいあいバス1年間無料バスポートの交付、タクシーチケット (またはバス回数券) 1万円分	→	→	→	→	→	◎	○ (警察等)	○
8	パーク&ライドで公共交通利用の推進	・JR小浜線小浜駅前駐車場の助成を実施 (定期乗車券購入者、往復乗車券購入者を対象に、駅前市営駐車場の助成実施) ・路線バス利用者向け小浜駅前駐車場の助成を実施	・JR小浜線小浜駅前駐車場の助成を実施 (定期乗車券購入者、往復乗車券購入者を対象に、駅前市営駐車場の助成実施) ・路線バス利用者向け小浜駅前駐車場の助成を実施	→	→	→	→	→	◎	○	○ (警察等)
9	乗継しやすいダイヤの設定と周知	継続的に実施	継続的に実施	→	→	→	→	→	◎		
10	利用しやすい待ち環境の充実	・JR小浜駅前待合室等のリニューアル	・JR小浜駅前待合室等のリニューアル	→	→	→	→	→	◎	○ (施設等)	○

## 小浜市地域公共交通計画 取組み一覧

		実施時期					取組み主体 (◎)、連携 (○)			
		R5年度事業	R6年度事業 (予定)	2022 (F4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	交通事業者	企業、関係団体等
基本方針3：わかりやすく使いやすい公共交通環境の提供										
11	わかりやすい公共交通情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいバス時刻表改訂</li> <li>・JR小浜駅待合室にデジタルサイネージを設置し運行情報を発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいバス時刻表に施設案内掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいバス時刻表改訂</li> <li>・JR小浜駅待合室にデジタルサイネージにて運行情報を発信</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎
12	施設と連携した公共交通案内の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいバス時刻表に施設案内掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいバス時刻表に施設案内掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいバス時刻表に施設案内掲載</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎ (施設等)
13	使いやすい料金プランの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学と共創したコミバス運行形態見直し検討会の中で検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学と共創したコミバス運行形態見直し検討会の中で検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学と共創したコミバス運行形態見直し検討会の中で検討</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎ (施設等)
14	安心・安全・快適に利用できる公共交通サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉タクシーの助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉タクシーの助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉タクシーの助成</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎
基本方針4：まちの賑わいを生み出す移動サービスの創出										
7 (再掲)	市街地循環バスの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学と共創したコミバス運行形態見直し検討会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学と共創したコミバス運行形態見直し検討会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学と共創したコミバス運行形態見直し検討会の開催</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎
15	観光資源を活かした周遊バス・観光タクシー等の運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋に期間限定で市街地の観光施設を周遊するバス(シトロバス)の運行</li> <li>・観光タクシーの運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋に期間限定で市街地の観光施設を周遊するバス(シトロバス)の運行</li> <li>・観光タクシーの運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋に期間限定で市街地の観光施設を周遊するバス(シトロバス)の運行</li> <li>・観光タクシーの運行</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎ (観光バス、タクシー)
16	JR小浜線観光列車・イベント列車等の運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラッピング列車の運行 (小利協)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラッピング列車の運行 (小利協)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラッピング列車の運行 (小利協)</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎ (施設等)
17	施設と連携した魅力的なイベント等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井ユニテッドFCとの連携企画 (小利協)</li> <li>・おはませんサポーター向けイベントの開催 (小利協)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井ユニテッドFCとの連携企画 (小利協)</li> <li>・おはませんサポーター向けイベントの開催 (小利協)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井ユニテッドFCとの連携企画 (小利協)</li> <li>・おはませんサポーター向けイベントの開催 (小利協)</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎ (協議会等)
18	キャッシュレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバス再編の中で、キャッシュレス化について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバス再編の中で、キャッシュレス化について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバス再編の中で、キャッシュレス化について検討</li> </ul>	↑	↑	↑	◎ (県市)	◎	◎ (施設等)
19	多様なニーズ・嗜好への対応、MaaSや自動運転等の新技術の調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術等の調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術等の調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術等の調査研究</li> </ul>	↑	↑	↑	◎	◎	◎

# コミュニティバスの運行形態見直しについて

## ■令和4年度

### 【デマンド交通 実証実験の概要】

- ・運行形態 予約があった停留所と停留所の間を運行
- ・運行期間 令和4年10月～12月の平日9時～15時（土日祝は運休）、計57日間
- ・運行エリア 小浜市街地の一部、雲浜地区、西津地区、内外海地区
- ・対象者 雲浜地区、西津地区、内外海地区に住所を有するもの
- ・運行車両 市が委託するタクシー車両（定員4名／台）
- ・料金 無料
- ・予約方法 電話予約またはWEBサイト予約（利用日の1週間前から1時間前まで予約可）
- ・停留所 あいあいバスの既存バス停（36か所）  
居住地区内の追加バス停（44か所） } 計80か所

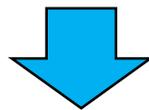
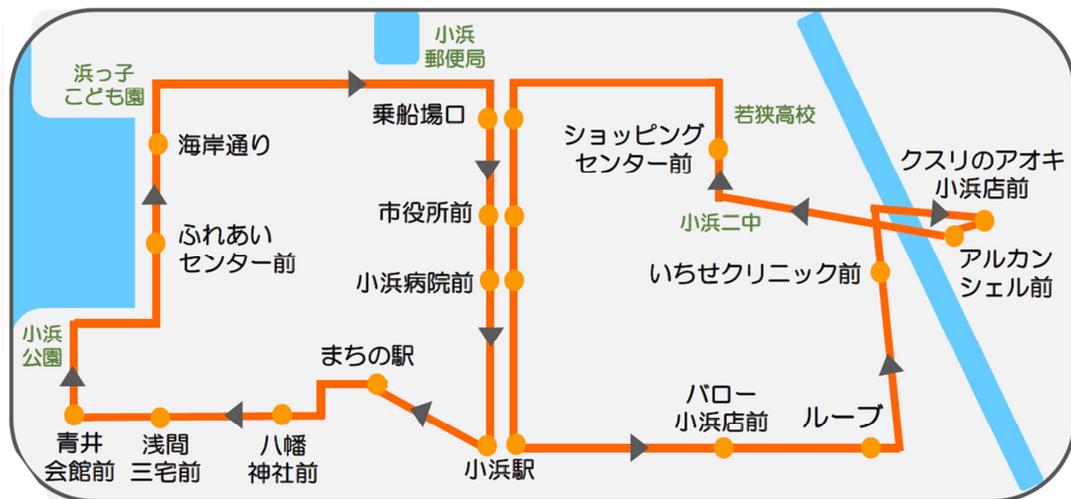


### 【実証実験の結果】

- ・利用者数 実利用者数96人 運行件数630件 乗車人数750人  
実利用者のうち70代以上の高齢者が77%を占めている。  
乗合率は1.19人で、乗合となることは少なかった。
- ・乗降場所 雲浜地区の利用者が多く、雲浜地区の乗降場が多く利用された。  
小浜市街地エリアでは「小浜病院前」「小浜駅」「市役所前」が多く利用されたほか、「ショッピングセンター前」「バロー駐車場」など買い物への利用がみられた。
- ・輸送コスト デマンド交通（3か月間） 7,651円／1人当たり  
（比較用：あいあいバス（日中9時～15時） 3,465円／1人当たり）
- ・利便性 居住地近くに追加したバス停が多く利用されていた。  
多くの利用者が希望時間の20分以内の予約確定となっていた。  
一方で、朝夕の時間帯および土日の運行等、運行時間の拡大を求める意見が多かった。
- ・持続可能性 デマンド交通を導入する場合、輸送コストの増加が見込まれることから、持続可能な交通体系の整備には、利用者の確保と適切な運賃設定が必要。  
デマンド交通の自由度が増すほど、通常のタクシー事業とのすみ分け、タクシー事業の維持が難しくなる。

## 【市街地循環バス 実証実験の概要】

- 運行形態 定時定路線による運行で、利用にあたって事前予約や登録は必要なし
- 運行期間 令和4年11月の平日9時～14時台（土日祝は運休）
- 便数 1日7便（1便約40分）
- 対象者 どなたでも利用可能
- 運行車両 市が委託するハイエース車両1台（定員8名）
- 料金 無料
- 運行ルート 小浜駅を中心に、病院、店舗等を回るルート



## 【実証実験の結果】

- 利用者数 273人（平均乗車人数 13.7人/1日当たり）
- 乗降場所 「小浜駅」「青井会館」「クスリのアオキ」「アルカンシェル前」「ショッピングセンター前」の利用が多くみられた。
- 輸送コスト 4,254円/1人当たり
- 利便性 利用目的は「買い物」が最も多く、府中エリアに停留所を設置したことにより、スーパーや衣料品店など複数の店舗を回る利用に需要があった。一方で、最終便の時間が早いという意見が多く寄せられた。

## ■令和5年度

令和5年度は、実証実験の結果を踏まえ、産官学の連携で、デマンド交通および市街地循環バスの導入について、関係者へのヒアリングや意見交換を行うとともに、有効性や実現性の検証を行い、小浜市に適した公共交通について検討・協議を行った。

～デマンド交通利用者の意見～ ※デマンド交通利用者へのヒアリング（R5.7.3、R5.7.6）結果より

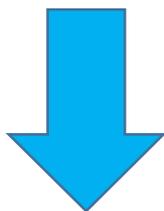
- ・現在のあいあいバスよりバス停が近く使いやすい
- ・あいあいバスは本数が少ないので、デマンド交通の方が便利
- ・デマンド交通の運賃設定は1回500円以内にしてほしい
- ・帰る際の1時間前予約が不便。30分前にしてほしい

～市街地循環バス利用者の意見～ ※市街地循環バス利用者へのヒアリング（R5.7.6）結果より

- ・複数の店舗を回る買い物に使い勝手がよかった
- ・あいあいバスは1日に2便しかないので午前中に行き帰りできる便がほしい
- ・市街地循環バスの運賃設定は500円以内にしてほしい
- ・海岸通りでなく、1本内側の住宅地の中の通りを走ってほしい

～地域の方から見た公共交通のあり方～ ※内外海地区意見交換会（R5.12.7）の内容より

- ・日常的な買い物を行うための交通手段が求められている
- ・現状のバス移動について少なからず使いづらさを感じている
- ・持続的な将来の交通手段について、全国的な交通環境の変化を踏まえたうえで、地域の将来像をイメージしている



### 《有効性》の検証

- ・利便性において最も有効な運行形態の選定
- ・利用者に許容される運賃設定

利用者が求める公共交通とは・・・

①停留所まで歩いて行けること（居住地に近いバス停留所）

②すぐに乗り物がくること

（定時定路線であれば運行頻度が高いもの。予約型であれば待ち時間が短いもの。）

③日常使いができる料金であること（1回500円が上限の目安）

### ①タクシー業界を取り巻く現状

- ・全体的に乗務員不足
- ・朝の通勤時間帯の確保は厳しい。→市内を走るタクシーが0になる可能性もある。
- ・朝の7：00台はタクシーに人を回す余裕はない。
- ・9:00～15:00は空きがある。（タクシー需要は少ない）
- ・従業員を休ませなければならないので日曜日は台数を減らしている。
- ・駅での乗り入れはない。（客が少ない）

### ②人出不足の状況

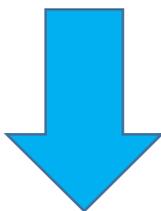
- ・若い人が入ってこない
- ・ハローワーク、有料サイトでも募集をかけている。
- ・タクシーの運転手の高齢化が顕著
- ・入社してくる人数より、退職人数が多い（自然減）
- ・3年後の人員確保に不安
- ・バスの運転手が余っていても、今は雇用している（今後の自然減を考えて）

### ③デマンド交通について

- ・デマンド交通実施区域以外のタクシー事業にしわ寄せがでる可能性がある
- ・あいあいバスの運行を止めて、デマンド交通を行うと運転手の流出につながる
- ・デマンド交通単独の実施は難しい。（バス乗務員はタクシーの運転を嫌がり、会社を辞める）
- ・ドライバーは、細かいルートを走ることや、お客様の対応、料金の徴収など大幅に負担が増える

### ④市街地近郊の交通について

- ・一定エリアのデマンド交通の場合、エリア外にしわ寄せがくる（クレームの原因となる）
- ・あいあいバス路線から漏れた箇所の交通を検討する方がよいのではないか
- ・すでに足があるところに対し、更なる移動手段を考える必要があるのかが疑問



#### 《実現性》の検証

- ・運行事業者の対応能力
- ・持続可能な運行収支（運行経費および運賃収入）

### 事業者が抱える問題・・・

#### ①人材不足が顕著であること（入社人数を上回る退職者の増加）

→対応能力があるとはいえない

#### ②厳しい事業運営状況であること

→持続可能な運行収支であるとはいえない

## ■令和6年度

### 【地域交通に関する意見交換会 in 内外海】

内外海地区におけるR4～R5までの実証実験-検証の結果を改めて共有するとともに、この結果を踏まえ、将来の内外海地区の地域交通のあり方について交通事業者を交えて意見交換を行う。

- ・日 時 令和6年6月26日（水）18：00～
- ・場 所 内外海コミュニティセンター（内外海地区）
- ・参加者 内外海地区代表 4名  
市内交通事業者2社  
小浜市新幹線交通・まちづくり課

内 容	意 見
①外ヶ-業界・バス業界の現状 （人手不足の状況、就業時間にかかる法改正など）※交通事業者⇒地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足の状況が顕著である。</li> <li>・労働基準法が適用されない役員が運転するケースもある。</li> <li>・人手不足に加え、就業時間にかかる法改正による影響が大きい。人と時間の問題が大きい。</li> </ul>
②公共交通の利用目的 （お出かけの目的） ※地域住民⇒交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に買い物や病院が目的。</li> <li>・免許返納してタクシーチケットをもらっても1年限り。免許返納しようと思わない。</li> <li>・（高齢者の方は）交通量の少ない地区内の運転はできるが、交通量の多い市街地の運転に不安を感じている。</li> </ul>
③デマンド交通、市内循環バスについて ※交通事業者⇄地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド交通については、利用ニーズが少ない。</li> <li>・予約は電話による予約がほとんどであった。</li> <li>・車内空間が狭く、見ず知らずの方と一緒に乗車することに抵抗を感じる若年者もいた。</li> <li>・市街地循環バスは便利に思う。改善策次第で需要があるのではないか。</li> </ul>
④公共交通を取り巻く環境の変化 ※事務局⇒交通事業者、地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によって課題やニーズは違う。</li> <li>・利用者ニーズと供給する交通事業者の対応能力が掛け離れているため、双方と話し合い最適解を求めたい。</li> <li>・地域から実情にあった運行形態・運行方法を提案いただく方が行政として支援しやすいところもある。</li> </ul>

## 結果報告(まとめ)

### 【今回の実証実験における各事業の課題】

#### (デマンド交通)

- 運行範囲が広く、利用者ニーズと必ずしも合致しない。
- 利用者ニーズと運行事業者の対応力に乖離がある。

#### (市街地循環バス)

- 実証実験における運行期間が短く、データ不足感もあった。
- ルート見直しの要望意見があった。※利用者アンケートより

◎検証結果やヒアリング結果、利用状況、事業者の対応能力、輸送コストなどを総合的に勘案すると、どちらの事業についても、今回の実証実験において設定した運行方法では、持続的に運行を行っていくということは、非常に厳しいという結論に至った。

◎しかしながら、デマンド交通や市街地循環バスという交通形態そのものを否定するものではなく、「市街地循環バス」については、上記課題について、運行方法などを工夫すれば改善の余地はあると考える。

◎今回、実証実験を行って得られた課題について、運行方法の改善案や他の交通形態の模索を含め、地域、事業者、行政の3者を中心に、小浜市の新たな交通形態の確立に向け、引き続き、協議を行っていく。

以上、今回の実証実験における検証結果として報告する。